



『「推し」に抱かれる順番が、 私のとこまで回ってきた』 編集長 川俣のレビュー

面白さ	★★★★★
エロさ	★★★★★
ストーリー性	★★★★★
何度も	★★★★☆

■感想

地下アイドル×地雷系女子、どこまでも危うい関係がクセになる一作。クズ感満載のシオくんは、甘い言葉と絶妙な距離感でリリちゃんを巧みに誘導。優しさに見せかけた“都合のいい女扱い”がリアルすぎてゾッとするのに、読者としてはなぜか目が離せない…。灰暗いセックス描写には首絞めなどのハードな要素もあり、ただ甘いだけじゃない刺激が詰まっています。ハッピーエンドかと聞かれたら首をかしげるけど、それがまた余韻を引き立てるポイント。リリちゃんの聞き分けの良さや健気さが切なくて、「こんな子がクズに捕まって…！」とモヤモヤしつつも、どこかで「でもわかる…」と納得しちゃう自分がいる。続きがあるなら間違いなく読んでしまう、そんな中毒性ある物語です。

『「推し」に抱かれる順番が、
私のとこまで回ってきた』を今すぐ立ち読み